

# 千葉菌類談話会通信

CHIBA  
MYCOLOGICAL  
CLUB  
BULLETIN

MAR. 2021 No.37



NO. 37

## 千葉菌類談話会通信 37号 目次

■房総きのこ今昔 ー大正時代のハツタケ狩りー	吹春俊光・内田龍哉・吹春公子	4
■絵葉書や浮世絵などでたどる房総のきのこ文化 ー房総で何故ハツタケが愛されているのか?ー	吹春 俊光	10
■房総きのこ今昔	吹春 俊光	37
■船橋県民の森で見られるきのこ	氏家 文憲	38
■真菰墨に魅せられて	中野 由貴子	55
■私ときのこ	中林 芳輝	56
■発生している所が見たかったニオウシメジ	中林 芳輝	57
■ニホンリスとキノコ	小田嶋 晴子	58
■2020年の南信州 きのこ遠征	小倉 豊史	59
■富士山「まなびの森」ご紹介	沢田 明宏	62
■菌類の被子植物/裸子植物特異的形質の探索的解析	中島 淳志	66
■ふくしまときのこ	小沢 晴司	73
■コウタケあれこれ	毛利 尚樹	76
■切手に見る栽培キノコ	石川 博己	83
■どんぐりシイタケ報告 2020年度	木下 裕美	86
■タマキクラゲ タマキクラテ	木下 裕美	88
■アミガサタケからの新しい発見	木下 裕美	90
■続 孢子画 2020	木下 裕美	92
■熱帯の幻想 ー毒キノコに当たった話 ー	三島 明人	94
■ザグレブの青果市場で見かけたきのこ	氏家 文憲	96
■四姑娘山で出逢ったきのこ	氏家 文憲	98
■ポーランドのきのこの瓶詰	氏家 文憲	102
■糞土師降臨	前川 啓二	104
■2020年度行事報告にかえて	吹春公子・吉田悦子	105
■事務局よりお知らせ		106
■投稿のご案内		107
■表紙シリーズ 房総の森ときのこ その4 「モミ林のきのこ」	吹春 俊光	109
■表紙によせて	大作 晃一	113